

## ◎多世代交流の仕組みづくり事業

5月19日(日)に、実谷区民館で地域住民、三育学院大学と一緒に、多世代交流の仕組みづくり事業「第5回 寄茶場 in 実谷&七本」を実施しました。

今回は、「大人と子どもでオリーブ&ハーブを植えよう」をテーマに総勢30名で実谷区民館にオリーブ&ハーブ園を作りました。



▲竹上先生より植え方を教わっています

オリーブやハーブの効能、植え方、育て方を三育学院大学 竹上 喜征先生より教わりながら行いました。オリーブを植えるために穴を深く掘ったり、ハーブ園となるように花壇を作ったりと全員で協力しながら実施しました。

実施後は、三育学院大学 棚橋 ゆか管理栄養士がオリーブの葉で作ったグリッシーニとお茶を飲みながら疲れを癒しました。

今後は、植樹したオリーブやハーブを住民で育て、活用していきます。



▲子どもと高齢者が一緒に草むしりしている風景

今回も以前と同様、実施にあたり、地域住民の方を中心に事前に植える場所の選定や事前準備、三育学院大学の先生と打ち合わせ、役場産業観光課、企画財政課の協力を得るなど寄茶場がよりよいものになるよう実施しました。

参加者は「特別なことは求めてなく、集まるのが大事」という声があり、今後も気軽に子どもから大人まで集える場所作りを住民の皆さんと作って行きたいと考えています。



▲グリッシーニを食べながら談笑しています



▲実谷区民館に作ったオリーブ&ハーブ園